

令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立高松小学校
作成日	令和4年 3月 12日

1 教育目標

豊かな人間性と自ら学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる子供を育成する

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・各柱は適切な指標であると思う。 ・様々なアンケートを実施し、より具体的かつ詳細な意見を把握しようとしている。 ・各校のアンケートをもとに実際の子供の声を集約している点がよい。 ・子供や保護者の思いをアンケートから知ろうとされていて熱心に感じました。 ・思いを伝える機会を作ってくれていることはありがたい。			
意見重点目標に対する	・子供に長期的かつ具体的な目標を明確にさせ目標達成能力と成功体験を得ることができる。 ・読書はすべての学習に繋がっていることやコミュニケーション力の向上の効果もある。 ・子供たちにたくさんの機会を与えてくれている。	・縦割り活動の影響で同学年だけでなく人的な繋がりがあるのでよい。 ・高松という地域での仲間づくりの交流ができています。 ・子供たちに仲間意識の大切さを伝えてくれています。	・新型コロナウイルス感染拡大を防止し、子供たちが安心・安全に過ごせるよう大変な努力をしていると思う。 ・早寝・早起き、朝食をしっかりとるという原則に従う行動の徹底。子供たちを思い、感染拡大を防止するために大変な努力をしてくれています。	・地域で子供たちを見守り育てていく。 ・共働きが増える昨今、地域が与える影響は大きい。 ・地域の方のサポートを得て、安心・安全につなげてくれています。
意見取組状況に対する	・授業を客観視し、試行錯誤を繰り返していくのは大変なことであるが、向き合ってくれている。 ・普段から基礎学力の積み重ねが全体の底上げになっていると思う。 ・全担任の研究授業は大変だったと思います。	・学校図書の充実を図書ボランティアのサポートを得ながらできている。 ・より一層向上を図るなら司書などの人的支援が必要である。 ・縦割り活動から縦のつながりの大事さ楽しさを子供たちに感じさせてくれています。	・新型コロナウイルスの影響で子供たちの体力の低下が気になります。 ・安全対策を講じた上で体力向上に向けて努力していることが分かる。 ・ソーシャルディスタンスの意識の定着ができてきていることが分かり安心できます。	・新型コロナウイルスの影響で青バトが実施できず地域の方の負担をかけてしまうところが大きかった。 ・ここ2年公民館フェスティバルや井原神社の夏祭りなどが実施されないため、各委員さんとのコミュニケーション不足も心配である。 ・安心安全な授業参観だと感じました。
対取組の意見の適切さの検証結果に	・教職員が一丸となって子供たちが勉強に取り組む姿勢を養ってくれている。また、そのような授業内容を日々研究し、それを実践してくださっている。 ・読書力の向上に常に力を入れてくれているのも影響大であると思う。 ・学校の取組のお陰でよい結果を得ることができていると思います。 ・100冊以上読書している児童数が56人である評価についてどう考えればよいか	・コロナの影響で外遊びが制限される中、図書室をはじめ子供たちが楽しめるよう努めてくれている。 ・閉鎖的な生活の中、縦割りにより上級生には責任感の醸成、下級生には上級生への憧れにより、心の成長を促せているように感じる。 ・学校は読書環境をととても大切にしてくれています。	・魅力的な給食は食育にもなり、健康の礎となる。 ・感染症対策の徹底が、コロナを含め病気の予防になっており、清潔に生活していくことは集団生活をしている中では非常に意味があることである。 ・感染予防の指導の徹底のお陰で子供たちの意識が高まっています。	・地域の方とふれあうイベントが何かあればと思う。 ・子供達も保護者も地域の方への挨拶を積極的にしていく必要がある。 ・「地域とともにある学校」になるために、つながろうとしてくれています。
改善年度法にの対する意見	・担任の先生だけでなく事務の方や給食の先生達など皆さんが子供たちをしっかりと見てくれていると感じます。 ・マンネリな授業でなく子ども達が楽しめるような授業内容にするため、日々研鑽してくれている。 ・授業力の向上に力を尽くしてくれていて感謝です。	・図書へのサポートについてPTAとしても継続して支援していきたい。 ・自己肯定感の高い子供の育成が必要だと考えてくれています。	・PTAとしても体力アップ向上のサポートが何かできないか。 ・ボール遊びができる場所の提供として放課後学校のグラウンドの開放を希望する。 ・感染症対策を視野に入れ子供たちの体力が高まる授業を考えてくれています。	・新型コロナウイルスの中これからどのように地域の方とのコミュニケーションを深めていくか考える必要がある。 ・地域の方の高齢化もあるので今までの役割分担を検討するタイミングでもある。 ・挨拶の大切さなど、子供たちに考える機会を持たせてくれています。

3 その他のご意見

- ・英語学習やプログラミング学習などのような専門分野の授業も増えてきている。これらの専門分野は専門講師が必要であると考えます。
- ・図書司書がいる学校の読書力は非常に高いと聞いています。常駐できなくても定期的に司書に来てもらえたらとおもいます。
- ・高松小学校は、バランスがよく、安心して子供たちを通わせることができると多方面から聞いています。ありがとうございます。